

道徳の時間学習指導案

江田島市立大古小学校 江川真由美

- 1 日 時 平成 25 年 12 月 18 日 (水)
- 2 学 年 第 2 学年 男子 14 人 女子 13 人 計 27 人
- 3 主 題 名 みんなのために働こう
- 4 内容項目 4－(2) 勤労
- 5 資 料 名 「もりのゆうびん屋さん」(出典：文部科学省「小学校道徳読み物資料集」)
- 6 ね ら い 森のみんなのために心を込めて郵便物を届け、感謝されてやりがいを感じるくまの気持ちに共感することを通して、働くことはみんなの役に立って、そのことがやりがいにつながることを感じ、みんなのために働こうとする態度を育てる。
- 7 主題設定の理由

○ 本主題は、小学校学習指導要領の道徳の低学年の内容項目 4－(2)「働くことのよさを感じて、みんなのためにはたらく。」をもとに、設定したものである。また、「働くことのよさを実感できる道徳学習プログラム」の第 5 時として学習する。

児童が自立した一人の人間として生きていくには、仕事に対して誇りと喜びを見いだし、将来や社会に対する夢、希望、生きがいなどをもって仕事に取り組めることが大切である。また、働くということが、自分に課された社会的な責任を果たすという意味においても重視する必要がある。そのことを通して、社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びなどを味わうことができる。この段階の児童においては、素直に働くことそのものを楽しみ、それがやりがいであるという段階から、「みんなの役に立つ」ということを実感し、そのことを通して「仕事のやりがい」をさらに実感し、「自分の成長」を感じることができると考える。そして、道徳で学んだ道徳的实践力を、掃除や給食当番、係活動での仕事等、実際の場での意欲や態度に結び付けていくことが大切である。

○ 本学級の児童は、身近な集団である学級での、掃除や給食当番、係活動等に意欲的に取り組もうとする児童が多い。また、低学年の発達段階としても、働くことを楽しく感じている児童が多いとされている。しかし、2 学期も後半に入り飽きも出てくる頃である。そのため、自分の役割を感じるやりがいが薄れ、日常の仕事を人任せにして遊んでしまう児童もいる。また、楽しく興味があるから働いているだけで、みんなの役に立っているという実感が十分でない児童もいる。「道徳学習プログラム」では、これまでに、「ぼくのうちの夕はん」で家庭での働くことを学んで家庭で実践し、「ふしぎな気もち」で働くことの気持ちよさを考え、学級活動で係活動について振り返る学習をしてきている。

○ 本資料は、みんなのために働くことの大切さを感じられるように構成してある。郵便を配達するくまが、森のみんなに心を込めて郵便物を届け、いろんな人から感謝されるという内容である。「みんなの役に立つ」と感じることで、「仕事のやりがい」をさらに実感し、みんなのためにもっと働こうとする心情を育てたい。

本学習の指導に当たっては、以下の 3 点に留意して進めていきたい。

1 点目は、展開前段で、役割演技を取り入れることである。それにより、資料のくまの心情により共感し、実感を伴って考えられるようにしたい。

2 点目は、展開後段で、他者からの評価とこれまでの自分との比較を取り入れることである。掃除や給食当番の日常の役割や、係活動について、教師や友達から評価の一言を書いてもらった付箋を見ることを

通して、「みんなの役に立つ」ことを感じ、「仕事のやりがい」を実感して書き表せるようにしたい。さらに、これまでの学習シートの働くことに対しての否定的な感情とやりがい等の肯定的な感情を比較することを通して、自分の成長を感じて書き表せるようにしたい。

3点目は、終末で、生活科の学習を想起させることである。本学級の児童は、1学期に生活科の「町はたからばこ」の単元で町探検に出かけ、町の働く人々とかかわってきた。そして、これらの出会いを2学期の地域公開で劇化して発表した。このような自分の町の働く人々とのかかわりを写真を用いて想起させながら、世の中にはたくさんの仕事があり、みんなのために頑張っておられる人々がいる。それぞれの働く人は、それぞれの仕事に働くことのよさを感じながら頑張っておられることへ思いをつなぐようにしたい。

8 授業計画

時	学習計画	ねらい
1	道徳の時間 主題「手伝うよ」 4－（3）家族愛 資料「ぼくのうちの夕はん」	初めは、お手伝いをやりたくなかったが、一生懸命お米をといで、家族に褒められたり感謝されたりした時のまさきの気持ちに共感することを通して、家族の一員として役割を果たすことにやりがいを感じ、家族のために進んで働こうとする心情を育てる。
2	家庭学習 パワーアップお手伝い	家庭学習で、自分にできそうなお手伝いの実践をし（1週間）、保護者に「役に立った」「成長した」等の評価をもらう。
3	道徳の時間 主題「働くって気持ちいい」 4－（2）勤労 資料「ふしぎな気もち」	働くことを疲れるからと初めはやりたくなかったが、実際に働いてみると「ふしぎな気持ち」になっていき、働くことの気持ちよさを感じていくきつねの気持ちに共感することを通して、働くことそのものに爽快感を感じ、自分やみんなのために働こうとする心情を育てる。
4	学級活動 「係の仕事を振り返ろう」	自分の係活動について振り返り、自分の役割に気付き、進んで果たそうするとともに、仲良く助け合い、学校生活を楽しくすることができるようにする。また、自他の頑張りに気付き、それらを伝え合うことを通して、働くことのよさを感じることができるようになる。
5 (本時)	道徳の時間 主題「みんなのために働こう」 4－（2）勤労 資料「もりのゆうびん屋さん」	森のみんなのために心を込めて郵便物を届け、感謝されてやりがいを感じるくまの気持ちに共感することを通して、働くことはみんなの役に立って、そのことがやりがいにつながることを感じ、みんなのために働こうとする態度を育てる。
6	学級活動 「みんなのための仕事をパワーアップしよう」	地域での自分たちの仕事について振り返り、働くことのよさを感じることができるようになる。また、自分の役割に気付き、進んで果たそうするとともに、学校生活を楽しくすることができるようにする。

9 展 開

段階	授業展開	主な発問（○）と中心発問（◎） 予想される児童の心の動き（・）	留意点（・）・評価（※）
導入	1 なりたい職業について考える。	○ みなさんは、将来何の仕事をしたいですか。 ・ パティシエになりたいです。	・ 郵便屋の職業が出てくる本時の資料への動機付けをする。

		・ サッカー選手になりたいです。 ・ 警察官になりたいです。 ○ いろんなお仕事がありますね。今日は、郵便屋さんが出てくるお話を聞いて考えましょう。	
展開前段	2 資料を聞いて話し合う。 くま：(吹雪のBGMの中、小包を大切に持って山道を急ぎ足で登る。) やぎじいさんゆうびんですよ。 やぎ：こんな雪の日にごくろうさま。誰からですか。 くま：お孫さんからですよ。(丁寧に小包を出して渡す。) やぎ：ぽかぽかの手袋だ。 くま：よかったですね。 やぎ：() くま：()	○ 雪の日に、やぎじいさんの喜ぶ顔を思い浮かべながら急ぎ足で配達に行き、丁寧に小包を届けるくまさんはどんなことを考えているでしょう。(役割演技の初めを示す。)	・ 二人組でくまさんとやぎじいさんになって、小包の小道具、吹雪のBGMも用いて役割演技を行う。 ・ 二人組での役割演技の後、数組発表させる。 ・ くまさんの、やぎじいさんを早く喜ばせたいという気持ちや、やぎじいさんに喜んでもらって「役に立つ」ということを実感することで、仕事にやりがいを感じる気持ちに共感させる。
		・ やぎ：ああうれしいよ。くまさんありがとう。寒かったでしょう。 - くま：どういたしまして。届けることができて良かったです。ぼくもううれしいです。 ◎ 働いた後、家に帰って、りすさんからのお手紙を読んだくまさんはどんなことを考えているでしょう。 ・ お手紙うれしいな。毎日お仕事頑張ってよかったな。 ・ これからもみんなのために頑張ろう。	・ ワークシートに書く時間を確保し、みんなに感謝される喜びを感じ、やりがいを感じるくまさんの気持ちに共感させる。 ※ 働くことでみんなの役に立つ喜びを実感し、仕事にやりがいを感じ、働こうとする意欲を高めることができたか。(ワークシート)
展開後段	3 自分の経験を振り返る。	○ くまさんのように、みんなが働いたことについて、たくさんのメッセージが届いています。読んでみましょう。 ・ 楽しみだな。誰からかな。	・ 掃除、給食当番について現担任から書いてもらった評価の付箋と、本プログラムの前時の学級活動の時間に係活動について友達と書き合

		・ たくさん貼ってある。 ○ 先生や友達からの言葉を読んで、働くことについて感じたことを学習シートに書きましょう。 ・ 先生にほめられてうれしいな。みんなのためになっていたんだね。 ・ 友達がきれいになって気持ちがいいと言ってくれてうれしいな。 ・ 友達がありがとうって言ってくれた。頑張ってよかったな。 ○ 学習シートに書いた言葉を比べて、自分が変わったと思うことを書きましょう。 ・ 初めは嫌だったけどやっぱりやってよかったよ。 ・ そういえばだんだん上手にできるようになったな。 ・ 遊ぶ時間が減ると思っていたけど、褒められたらやる気が出たぞ。	った評価の付箋を貼った, 学習シートを配付する。 ・ 付箋の「役に立つ」という他者評価から, 「仕事のやりがい」を感じられるようにする。 ・ 働くことに対する自分の否定的な感情と, 肯定的な感情を見比べて, 成長に気付かせる。
終末	4 生活科の学習を想起する。	○ この写真を見てください。これはみなさんが1学期の生活科で出会った, この町の働く人たちです。みなさんが地域公開でこの人たちになりきって劇もしましたね。もしもこれらのお仕事をする人たちがいなかったらどうなるでしょう。どれも町の大切な仕事ですね。お仕事するのは大変なこともあるようだけど, みなさんどうして頑張れるんだと思いますか。その人がお金を稼ぐためでもあるけれど, 町のみんなが安心して楽しく幸せに暮らせるため, そしてそのことを自分の喜びに, 頑張っておられるんだね。働くことって大切だね。	・ 町探検の時にしかかわった, 公民館の司書, 警察官, 郵便局長, パン屋さんとかかわりの写真を見せながら, 世の中にはたくさんの仕事があり, みんなのために頑張っておられる人々がいる。それぞれの働く人は, それぞれの仕事に働くことのよさを感じながら頑張っておられることを話す。